

## ミニ集会のお知らせ

新年あけましておめでとうございます。2015年の初春を迎え、謹んで皆様に新年のお慶びを申し上げます。

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月は、国立がんセンター中央病院でのFAPセミナーと懇親会の同時開催となります。まだまだ寒い時期ではございますが、皆様、お声を掛け合い是非お出かけください。お待ちしております。

### 記

日時：平成27年1月24（土）14：00～17：00

参加費：500円

場所：国立がんセンター中央病院 19階マハナダイニング

講演：「十二指腸乳頭部腫瘍の内視鏡診断と治療（仮題）」

講師：東京医科大学消化器内科准教授 糸井隆夫先生

\*ご出席の事前連絡は必要ございません。

連絡・問合せ先：メール：[takeday@sfc.keio.ac.jp](mailto:takeday@sfc.keio.ac.jp)（武田）TEL 03-5363-2064

当日は090-9833-5078にご連絡お願い致します。

今年度予定のお知らせ（\*日程が変更されました。時間・場所もいつもと違いますのでご注意ください。）

- 2015年2月22日（日）13：30-15：30

慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎4階 401教室



## 会員の方からのお手紙

私は初めて「ハーモニーライフ」に入会させていただきました。最初は、患者会がどういうものか漠然としたイメージしかありませんでした。しかしながら、2月のがんセンターでの懇親会に参加させていただきいろいろな立場の方が会に関わられていて、その方々の顔が見え、自分にとっても関わりのあるものだという実感が持てました。

また、ニュースレターをいただき、患者同士の悩みを共有できるようになったのは、気持ちの面でとても大きかったです。行政への陳情の情報も知り、私も微力ながらみなさんと一緒になってアクションをしていかないといけないと強く思いました。

一年を通して先生方の献身的なサポートもすぐく伝わってきて、大変心強く思っております。

遠方に住んでいるため、なかなか集まる機会に参加できませんが、このようなかたちでも私も関わっていければと思います。



## 会員 A さんからの質問 ～お医者さんの掛かり方～

**Q：**お医者さんの掛かりかたについて、教えてください。

今更の質問ですが、この病気だと日常でも緊急事態がおきて、近所の医院に掛かることが必要になる場合が多々あります。私は去年もやったのですが、小腸の内視鏡検査のための下剤で脱水をお

こしました。そんな時は血管が縮んで点滴の針も入りません。自分で見てもよくわかるほどに、体力の消耗が早いのです。去年と同様に、ブドウ糖とビタミン剤の点滴を受けました。お陰さまで帰りには元気になりました。まだ食欲も湧かずにできれば継続して点滴を受けたいのですが、検査を受けた医院は少し遠く、体力の落ちた時はタクシーで行くこととなります。そんな場合でも、いつも風邪などで掛かる近所の医院で点滴を受けられれば良いのですが。その医院では通院では注射のみで、点滴は往診になると言われました。全ての医院で点滴はうけられないのでしょうか。

外からはわからない医院の診療の仕方の違いは、どこで判断するのかわからないので教えてください。やはり直接聞くしかないのでしょうか。具合の悪い時に近所の医院ではなくタクシーで遠くの医院に行くのは辛いです。今回も声が出なくなったので脱水の経過をメモしていきました。

いつ緊急事態がくるのかわからず不安になりますが、万全の対策はしておきたいと思います。よろしくお願いします。

**A：**大腸切除を行わない場合は、定期的な内視鏡検査によりがんの早期発見に努めていく必要があります。また、たとえ大腸切除術を受けた場合であっても定期的検査の継続が重要です。今回の A さんのエピソードでもあったように、大腸の手術後では脱水を起こしやすいので、内視鏡検査のため下剤を内服して脱水などの身体への影響が出てくる方もいらっしゃると思います。また、それ以外でも、緊急時にはどのように対応したらいいかと不安を抱えていらっしゃる方もいらっしゃると思います。医療施設を上手く活用できると不安も軽減されると思います。

そこで、まず、「診療所と病院」について述べたいと思います。

「診療所と病院」は規模が異なり、それぞれ違う役割を担っています。

- 「診療所」は、入院させるための施設（＝病床）を有しないもの（無床診療所）又は19人以下の患者を入院させるための施設（有床診療所）を有するものをいいます。患者さんは基本的に通院で治療を受けます。

無床診療所に関しては、外来や往診診療のみの場合もあります。

- 「病院」は、主に入院治療を必要とする患者さんを対象としています。さらに、大学病院や総合病院などは、より高度な医療を必要とする患者さんを対象にしています。

急な症状により、不安になりますが、あらかじめ、かかりつけの医院や周辺の医療機関の対応を聞いておくのも必要です。状況に応じて医療機関を使い分けましょう。

さて、お尋ねの、『点滴』についてですが、「病院」「診療所」の区分とは直接関係ありませんが、実施にはある程度の時間がかかるので、その場所が必要です。「病院」であれば、入院して点滴することも可能です。無床「診療所」でも場所が確保されていれば実施しているところも多くあります。「病院」は、施設の設備、人員の基準も細かく設定されていますが、「診療所」には規定がありません。ですから、点滴をする患者さんが滞在する場所がないなどの理由で点滴を行っていない診療所もあります。緊急時に探すのは大変ですので、あらかじめ確認しておくといでしょう。

また、緊急時は以下のように対応されることをお勧めします。

- 日ごろから、自分の身に起こる症状と把握しておくことが大切。
- 症状が出現した際に、「いつ」「どこで」「何をしていた」「どんな症状が出て」「どのように対応したのか」をメモしておく。

- あらかじめ、ご自身のご自宅の周辺での医療機関の情報を得ておく。（外来点滴は可能か等）
- 身体の具合によってどこに受診したらいいか医療機関をあらかじめ決めておく。
- 外出時に何かあった場合でもすぐに対応できるように、主治医からの病状説明に関する書類などを持参する。 等  
（家族性大腸腺腫症ハンドブック p.41 参考）



### 会費納入について

会費の納入方法は銀行の振込です。必ず会員の方のお名前を明記してください。

「ハーマニー・ライフ」では、随時会員の入会を受け付けております。入会申込書にご記入いただき事務局にお送り下さい。同時に年会費（2000円）を振り込んで下さい。会費の納入が確認でき次第、会員として登録させていただきます。入会を希望される方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。ご不明な点については、事務局に文書でお問い合わせ下さい。

<年会費の振込先>

りそな銀行 横浜支店 普通1594211  
名義：ハーマニーライフ タケダユウコ

### 編集後記：

今回は、会員の方からのお手紙をいただきました。また、会員の方の今までの経験の中からの貴重な質問もあつたりと、皆様にとって共有できる内容だったのではないのでしょうか。

小さなことでも結構ですので、皆様からの投稿をお待ちしています。

慶應義塾大学看護医療学部 高畑 和恵

国立がんセンター中央病院 案内図

MAP

都営地下鉄 大江戸線 築地市場駅A1番出口から徒歩3分  
東京メトロ 日比谷線 築地駅2番出口から徒歩6分  
都営地下鉄 浅草線 東銀座駅6番出口から徒歩7分  
東京メトロ 有楽町線 新富町駅4番出口から徒歩11分



▶ 病院玄関から入り19階  
まではエレベーターを  
御利用ください